

2021年6月7日 作成

2021年6月8日 更新

長延寺に法名を依頼

西山 キミエの経緯:

大正6年3月17日 出生(西山庄三とタツ(旧姓 中村)の長女)

大正10年9月22日 母 タツ逝去

昭和7年3月31日 諫早高等女学校卒業

昭和8年2月12日 祖母 セン逝去

昭和14年5月15日 結婚(専業主婦として子育てと家事)

昭和15年1月4日 長男 紀男を出産

昭和16年2月27日 長女 和子を出産

昭和18年9月13日 次男 紘二を出産

昭和21年6月7日 次女 恭子を出産

昭和16年2月 長女 和子を出産した後から昭和23年7月の間、
長男の紀男を両親に預けた。紀男は諫早市の祖父母の下で育った。

昭和26年(長男 紀男が小学6年のとき)、毛糸編み物教室に入門して
編み機を購入、家計を補助するため内職を始めた。

編み物は性に合ったのだろう、紀男が40歳になる頃まで続いた。

昭和54年3月 夫 留太郎が逝去、先祖から受継いだ諫早市の土地建物
(和子と紘二が相続した物件を除く)、長崎市泉町の土地建物および
留太郎が残した預金の全額をキミエが相続した。

その後、お花の先生を自宅に呼び、近所の人と生け花を楽しんだ。

平成7年5月 長崎市泉町の家屋を取り壊し、二世帯住宅に建て替え、
次女 辻恭子家族と同居を始めた。

同居の決意から家屋の取り壊し、二世帯住宅への建て替え、同居に至る経緯
および資産の異動を長男の紀男に隠匿した。

最近になって、虚偽の説明をしていたことが判明した。

平成17年10月 キミエは本原の介護施設へ入居した(88歳)(施設名不詳)。

平成19年3月 キミエはかいごの花みずきに入居(90歳)、今(104歳)に至る。

なお、経緯から、法名は院号無しで、「釈 ○○ 大姉」にしていきたいと思っ
ます。

**【更新】6月8日、敬子さんが長延寺に確認した結果、「釈 ○○ 信女」でお願い
することとなった。**



2007年10月29日（90歳）
あぐりの丘のバラ園で



2017年3月17日（100歳）
かいごの花みずきで

宜しくお願いいたします。

松山市道後湯之町4番12号
ロイヤル道後503号
西山 紀男